

**新入生86名を迎え、全校285名で
令和3年度がスタートしました!**

全校生徒285名で、令和3年度がスタートしました。本年度も、参列していただく保護者、来賓等を制限してはありましたが、入学式や始業式を執り行うことがで

き安心いたしました。

入学式や始業式で校長として話したことをここに掲げてお読みいただき、本年度の学校経営について理解いただけたらと思います。

始業式

“当たり前のこと”の大切さを話しました!

進級おめでとうございます。今の気持ちはどうですか?きっとわくわくしていて、いろいろなことを頑張ろうと思っているでしょう。今の、その新鮮な気持ちを忘れないで、これから始まる、城山中学校での1年間を大切にしていきましょう。

2つ話をします。1つ目は、昨年度皆さんが書いてくれた、医療従事者への応援メッセージについてです。神奈川新聞に載っていたので、どの様に扱われたかわかっている人も多いでしょう。3月31日に富山会長、半山、島崎副会長の3人が、小田原市の市長室で、守屋市長、柳下教育長を前に、小田原市立病院長さんに手渡すことができました。病院長さんは、「何よりも嬉しい。ありがとう」と感激してくださいました。市立病院で働いているみなさんに伝わるように、回覧や展示をしてくださるそうです。

シトラスリボン運動も含めて、生徒会を中心に、全校生徒で取り組めた素晴らしい活動であったと思います。まさしく校訓にある「自治の精神」の活動だったと思います。今年度も、自分たちで考え判断し、行動に移すことができるみなさんであって欲しいです。

2つめは、昨年度最後の学校だよりに書いたことですが、春の選抜高校野球大会で選手宣誓をした、仙台育英高校野球部主将の言葉についてです。

今日ここに、高校球児の憧れの舞台である甲子園が戻ってきました。

この1年、日本や世界中に多くの困難があり、それぞれが大切な多くのものを失いました。答えのない悲しみを受け入れることは、苦しくてつらいことでした。

しかし、同時に多くのことを学びました。

当たり前だと思う日常は、誰かの努力や協力で成り立っているということです。

感謝。ありがとうございます。これは出場校すべての選手、全国の高校球児の思いです。

感動。喜びを分かち合える仲間とともに、甲子園で野球ができることに感動しています。

希望。失った過去を未来に求めて。希望を語り、実現する世の中に。(以下、略します)

当たり前にあったことは、いつもあることでなく、誰かの努力や協力で成り立っているのです。感謝の気持ちをもって、一日一日を大切にしていましょう。仲間を大切に、未来に希望を求めて頑張っていましょう。

今日からスタートする、新しいクラスの仲間をはじめとして、これからみなさんは、多くの人と出会い、いろいろな関わりを持って行くでしょう。「苦手だなあ」と感じる人とも出会うでしょう。そのときに、その人との関わりを、避けてしまうのではなく、その人の別の姿、個性を探し、より深く関わってほしいです。新しい仲間と、「すごいねえ」「頑張っているねえ」と、お互いに認め合い、みんなで伸びていける集団を作って、充実した1年を送ってほしいです。「やまない雨はない」「明けない夜はない」コロナ禍に負けず、くじけず、みんなで頑張っていましょう。



入学式で伝えたこと...

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。
今日から皆さんは、城山中学校の大切な1年生です。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、昨年度大きな制約の中で学校生活を送り、小学校でも多くの行事が中止になったりと、残念なことが多かったでしょう。それだけに、今日のこの入学を、心待ちにしていた人が、ほとんどだと思います。新たな気持ちで、これから頑張ろうと思っているみなさんに、「中学校生活で大切にしたいこと」について話をします。

城山中学校の校訓についてです。校訓とは、城山中学校の生徒である皆さんが、中学校3年間でこんなことを身に付けてほしい、こんな風に成長してほしいと示したものです。

本校の校訓は「**覇気と感動**」「**自治の精神**」です。

「**覇気と感動**」の覇気とは、**物事に積極的に取り組もうとする意気込み**。を指します。中学校生活で始まる、学習、部活動、行事等に積極的に取り組んでほしいです。何事にも手を抜かず真剣に取り組んでほしいです。

真剣に取り組むからこそ、うまくいったときや自分の技術や力を伸ばすことができたときに感動するのです。嬉しくなるのです。力の出し惜しみをしていては、感動も悔しさも感じません。感動や悔しさがなければ成長がありません。うれしいからがんばることを続ける。悔しいからもっと努力する。そんな生活を送ってください。

「**自治の精神**」の自治とは、**自分や自分たちに関することを自らの責任において処理すること**。を意味します。ぜひ自分で考えて行動できる、努力できる人になってください。指示されたことや指導されたことに真面目に取り組めることも大切ですが、自分で考えることはもっと大切です。君たちが大人になったときに、どんな世の中になっているか、見通せないことも多いです。それだからこそ、自分で考え判断できる人になってほしいと思います。もちろん、君たちが「**覇気**」「**自治**」の気持ちが持てる人に成長することを支えるために、先生方は授業を工夫しますし、行事を君たちと一緒に計画します。部活動の指導をします。先生方と一緒にあって、「**覇気と感動**」「**自治の精神**」を自分のものにして欲しいです。

もう一つ…。これからの中学校生活の中で、トラブルもあるでしょう。友達と仲たがいをしてしまうかもしれません。あつて当たり前です。そんな時に、自分のいけなかったことを素直に認めて、「ごめんなさい」と言う。その潔さが自分を変えていきます。認めなければ自分は何も変わりません。同じことを繰り返してしまうでしょう。

間違いを認めて、直していこうと努力する。意識することに成長があるのです。それが「賢くなる」ということです。是非、「ごめんなさい」が言える、潔い人になってください。

新入生のみなさんに、次の詩を送り、挨拶の結びにします。

この誌は、自分が中学1年生を担当したときに、いつも学級開きの学活で読んで、1年間教室に掲示していました。サトウハチローさんの詩です。自分なりの「素晴らしい色」「輝きのある色」を見つけて、城山中学校での3年間で、どうぞ自分を染め上げていってください。入学おめでとうございます。



『美しく自分を染め上げて下さい』
赤ちゃんのときは白
誰でも白
どんな人でも白
からだや心が
そだって行くのといっしょに
その白を
美しく染めていく
染めあげていく
毎朝目がさめたら
きょうも一日ウソのない生活を
おくりたいと祈る
夜眠るときに
ふりかえってその通りだったら
ありがとうとつぶやく
ひとにはやさしく 自分にはきびしく
これを続けると
白はすばらしい色になる
ひとをいたわり 自分をきたえる
輝きのある色になる
生まれてきたからには
よき方向へすすめるには
体や心を大きくするには
よき道をえらべ
横道はごめんだ
おことわりだ
いそがずに着々と
自分で自分を
美しくより美しく
染めあげてください

就学援助制度 ご存じですか

市立小・中学校に通学しているお子様の保護者に対して、教育費（給食費・学用品費等）を援助する制度です。なお、援助にあたっては所得制限等の審査があります。詳細は、教育指導課・学事係までお問い合わせください。

【☎ 33-1682】

教頭として、赴任いたしました...

4月1日付で教頭として着任いたしました宮坂と申します。8年ぶりの学校勤務となり緊張しております。学校の本来の役割は、教師、子供、保護者、地域の方々の距離を近づけ、皆で目標に向かって学べる場をつくることと思っています。しかし、今、「密を避ける、離れる」ことを求められ、子供たちの活動が制限される状況にとっても寂しい気持ちです。ただ、このような中でも前向きに、学校という場で、どのように心を通わせることができるかを考えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

